

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	駐留軍用地跡地利用推進に必要な経費			担当部局庁	内閣府政策統括官(沖縄政策担当)			作成責任者			
事業開始年度	平成9年度	事業終了(予定)年度	令和13年度	担当課室	政策調整担当参事官室			参事官 鈴木 哲哉			
会計区分	一般会計										
根拠法令(具体的な条項も記載)	沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法			関係する計画、通知等	-						
主要政策・施策	沖縄振興、地方創生			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「沖縄に関する特別行動委員会」(SACO)最終報告以降で返還された又は今後の返還が合意された駐留軍用地又は跡地の利用の推進及び円滑化を図り、沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法の定める沖縄県の自立的な発展及び潤いのある豊かな生活環境の創造のため、市町村が実施する跡地利用の検討を支援することを目的とする。										
事業概要(5行程度以内。別添可)	①西普天間住宅地区跡地における沖縄健康医療拠点形成に関する調査、及び嘉手納飛行場以南の米軍基地が返還された際の跡地利用施策展開方策検討調査を行う。 ②跡地関係市町村等が実施する跡地利用推進のために必要不可欠な事業に対する補助金を交付する(補助率:8/10以内)。 ③市町村の跡地利用推進を支援するため、駐留軍用地跡地利用支援システムのデータ作成・更新等を行う。 ④跡地利用等に関し専門的な知識を有するアドバイザー等を当該市町村からの要請に応じて派遣するとともに、跡地利用を推進するための各種会議等を行う。 (①～②は内閣本府、③～④は内閣府沖縄総合事務局にて執行) ※ ③駐留軍用地跡地利用支援システムの経費については、令和4年度からデジタル庁にて予算を一括計上している。										
実施方法	委託・請負、補助										
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求				
	予算の状況	当初予算	255	255	254	205	205				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	17	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-	-				
		計	272	255	254	205	205				
	執行額		138	129	131						
	執行率(%)		51%	51%	52%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		54%	51%	52%							
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	沖縄振興開発調査委託費		145	144	-						
	駐留軍用地跡地利用推進事業費補助金		58	58							
	職員旅費		2	3							
	計		205	205							
活動内容(アクティビティ)	駐留軍用地跡地の利用の推進及び円滑化の検討を目的として、調査委託事業を実施する。										
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標		活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	跡地利用推進のための委託調査の実施		委託調査実施件数		活動実績	件	2	2	2	-	-
					当初見込み	件	2	2	2	2	2
単位当たりコスト	算出根拠				単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	駐留軍用地の跡地利用の推進に関する調査委託費用から単位あたりコストを算出 X/Y=円/件 X=執行額 Y=委託業務の件数				単位当たりコスト	百万円	20	27	29	46	
					計算式	X/Y	40百万円/2	54百万円/2	58百万円/2	92百万円/2	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	-		-		成果実績	-	-	-	-	-	
					目標値	-	-	-	-	-	
					達成度	%	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-										

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
		調査委託事業のため、定量的な目標を設定することは困難		いずれも、各年度で見込んでいた件数での検討調査を実施できている					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 13 年度
	跡地利用における構想・計画の作成	跡地利用における構想・計画の調査報告書作成	実績	件	2	2	2	-	-
			目標値	件	2	2	2	-	-
			達成度	%	100	100	100	-	-
活動内容 (アクティビティ)	駐留軍用地跡地の利用の推進及び円滑化を目的として、補助金交付事業を実施する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	跡地利用推進のための補助金交付	補助金交付事業件数	活動実績	事業数	3	3	3	-	-
当初見込み			事業数	3	3	3	3	3	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	関係市町村等が実施する跡地利用推進のために必要不可欠な事業に対する補助費用から単位あたりコストを算出 X/Y=円/件 X=執行額 Y=補助事業の件数		単位当たりコスト	百万円	11	9	8	19	
			計算式	X/Y	33百万円/3	27百万円/3	24百万円/3	58百万円/3	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
		補助金交付事業のため、定量的な目標を設定することは困難		いずれも、各年度で見込んでいた事業に対する補助を実施できている					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 13 年度
	関係市町村等が実施する跡地利用推進のために必要不可欠な事業に対する補助事業の実施	関係市町村等が実施する跡地利用推進のために必要不可欠な事業に対する補助事業の実施	実績	事業数	3	3	3	-	-
			目標値	事業数	3	3	3	-	-
			達成度	%	100	100	100	-	-
活動内容 (アクティビティ)	駐留軍用地跡地の利用の推進及び円滑化を目的として、市町村へのアドバイザー等派遣事業を実施する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	跡地利用推進のための委託調査の実施	市町村へのアドバイザー等の派遣数	活動実績	市町村数	11	12	11	-	-
当初見込み			市町村数	14	14	14	14	14	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	アドバイザー等派遣に要した経費から単位当たりコストを算出 X/Y=円/人 X=アドバイザー派遣に要した経費(交通費を含む) Y=アドバイザー派遣人数		単位当たりコスト	千円	932	936	799	2,504	
			計算式	X/Y	15,854/17	15,912/17	12,797/16	35,060/14	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と令和元年～令和3年度の達成状況・実績					
		跡地利用の推進に関し、各市町村からの要望に応じアドバイザーを派遣する事業のため、定量的な目標を設定することは困難		いずれも、各年度において各市町村からの要望に応じた派遣を実施できている					
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 13 年度
	関係市町村等が実施する跡地利用推進のためのアドバイザー等派遣事業の実施	関係市町村等が実施する跡地利用推進のためのアドバイザー等の派遣件数	実績	市町村数	11	12	11	-	-
			目標値	市町村数	14	14	14	-	-
			達成度	%	79	86	76	-	-

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	9. 沖縄政策	
	政策評価	施策	9. 沖縄振興に関する施策の推進	
			政策評価書 URL	-
			該当箇所	-
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:			-	-
該当箇所			-	-

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
必要投入の	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	駐留軍用地の跡地利用における事業を行うことで沖縄振興の発展に寄与している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	駐留軍用地の跡地利用は、今後の沖縄振興にとって重要な課題であり国の責務として跡地利用に取り組む必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	駐留軍用地の跡地利用は、今後の沖縄振興にとって重要な課題であり国の責務として跡地利用に取り組む必要がある。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争・総合評価落札方式等で適正に支出先を選定し、競争性を確保している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	一部の案件について、入札説明書等の受領者は複数者いたものの、結果として一者応札となった。引き続き一般競争入札等により適正な支出先となるよう努める。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱に定められた交付率の範囲内において関係市町村等へ交付を行っており、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	業務の実施にあたっては、一般競争入札(総合評価)により委託業者を決定し、競争性を確保するとともに、効率的な執行に努めた。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	合理的な資金の流れ及び使途となっている。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	業務の実施にあたっては、前年度の事業を踏まえ事業内容を再精査している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	地方公共団体からの交付申請額が予定を下回ったことや、契約価格が予定を下回ったため、結果として不用率が大きくなった。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	今後の跡地利用に繋がる活動実績及び成果を残している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	調査課題を十分反映した活動実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	調査業務後の成果物は跡地利用の検討に十分活用されている。
事業連	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-

点検・改善結果	点検結果	事業実施に当たり、よりの確かつ効果的な事業を行うために内容の精査を行い、適正に調査及び支援を行った。
	改善の方向性	今後も更なる的確かつ効果的な調査や支援及び各調査結果を活かした施策が展開できるよう努めていく。

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

事業の有効性、効率性及び成果実績について、より一層の検証に努めること。また、直近3か年の低調な執行実績を踏まえて、適切に概算要求に反映されたい。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

所見を踏まえ、事業の有効性、効率性及び成果実績について、より一層の検証に努めるとともに、直近3か年の低調な執行実績も踏まえ概算要求を行った。

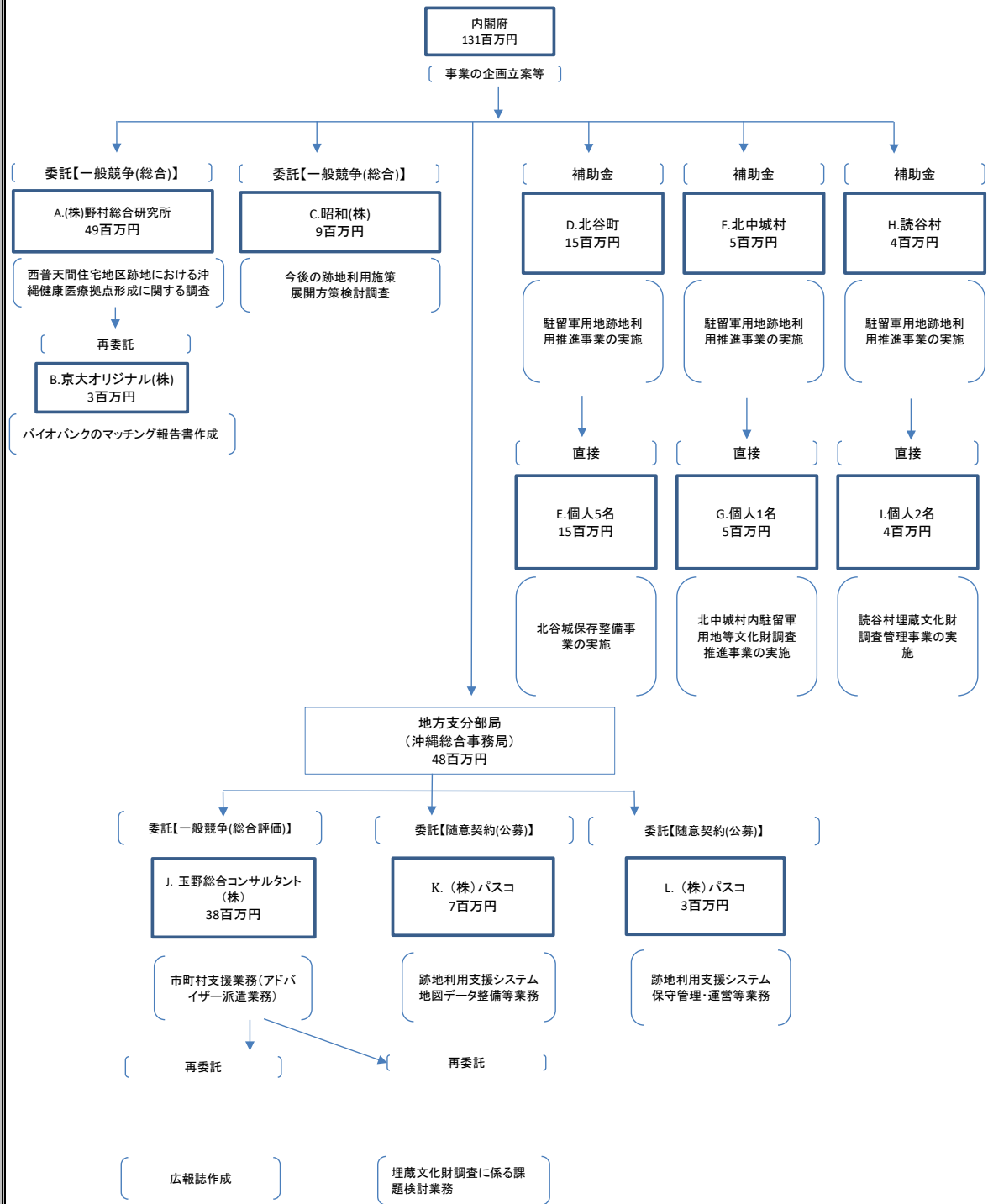
備考

—

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	0065			
平成24年度	0082			
平成25年度	0076			
平成26年度	0071			
平成27年度	0078			
平成28年度	0070			
平成29年度	0073			
平成30年度	0075			
令和元年度	内閣府 - 0081			
令和2年度	内閣府 0080			
令和3年度	2021 府 20 0091			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.(株)野村総合研究所			B.京大オリジナル(株)		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	調査実施費	44	事業費	調査報告費	3
	事業費	旅費、印刷製本費等	5	-	-	-
	計		49	計		3
	C.昭和(株)			D.北谷町		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	調査実施費	7	人件費	駐留軍用地跡地利用推進事業の実施	15
	事業費	謝金、印刷製本費	1	-	-	-
	一般管理費	-	1	-	-	-
計		9	計		15	
E.個人 5名			F.北中城村			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
賃金	北谷城保存整備事業の実施	15	人件費	駐留軍用地跡地利用推進事業の実施	5	
計		15	計		5	
G.個人 1名			H.読谷村			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
賃金	北中城村内駐留軍用地等文化財調査推進事業の実施	5	人件費	駐留軍用地跡地利用推進事業の実施	4	
計		5	計		4	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック	<input checked="" type="checkbox"/>	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	西普天間住宅地区跡地における沖縄健康医療拠点形成に関する調査	49	一般競争契約 (総合評価)	2	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	京大オリジナル株式会社	3130001062288	バイオバンクのマッチング報告書作成	3	その他	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	昭和株式会社	6011501002206	今後の跡地利用施策展開方策検討調査	9	一般競争契約 (総合評価)	2	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	北谷町	6000020473260	駐留軍用地跡地利用推進事業の実施	15	補助金等交付	-	-	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人 5名	-	北谷城保存整備事業の実施	15	その他	-	--	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	北中城村	5000020473278	駐留軍用地跡地利用推進 事業の実施	5	補助金等交付	-	--	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人 1名	-	北中城村内駐留軍用地等 文化財調査推進事業の実施	5	その他	-	--	

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	読谷村	7000020473243	駐留軍用地跡地利用推進 事業の実施	4	補助金等交付	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>